

太子町と阪南大学との包括連携協定の締結について



太子町(町長:田中 祐二)と阪南大学(所在地:大阪府松原市、学長:田上 博司)は、「地域連携及び地域活性化に関すること」、「知的及び人的交流に関すること」、「共同による調査研究及び事業の実施に関すること」及び「その他本協定の目的に沿うこと」の4分野にわたる包括連携協定を締結いたしました。

太子町は、聖徳太子御廟とその守護のために建立された叡福寺、「日出処天子」の国書を携え遣隋使として海を渡った小野妹子墓、推古天皇・敏達天皇・用明天皇・孝徳天皇など教科書にも登場する誰もが知る著名な天皇の御陵、双方墳という極めて珍しい形状を呈する国史跡二子塚古墳、中国の敦煌などを連想させる石窟寺院である国史跡鹿谷寺跡や国史跡岩屋、日本最古の国道である日本遺産「竹内街道」、そしてその街道沿いに建てられた国登録有形文化財の大道旧山本家住宅、古くは万葉集にも読まれ、石器材であるサヌカイト産出地としても周知される二上山など、全国屈指の歴史資源の宝庫である一方で、その豊かな歴史資源を活かした観光振興が思うように展開できていないことが課題でした。

本協定の締結を機に、「聖徳太子御廟をはじめとした、歴史資源のポテンシャルを文化財保護の展開とともに観光振興の展開にも活かしていきたい」という双方の想いのもと、国際観光学部和泉教授の研究室と国指定史跡「二子塚古墳」及び国登録有形文化財の「大道旧山本家住宅」の活用において共創的な取組みを進め、町内の歴史資源をつなぎ、自然や人のあたたかさなども感じながら歴史を楽しむことができる観光振興の展開の創造、いわゆる「ヘリテージツーリズム」の成立を目指してまいります。

さらに、今後、学生目線での情報発信を行う「広報サポーター」への参加やインターネットテレビ「太子TV」への出演を通じた町広報事業や、産官学連携によるふるさと納税型クラウドファンディング事業における連携・協力を検討してまいります。



【太子町長 田中 祐二コメント】

2025 年の大阪・関西万博を見据え、と考えていました。今回、阪南大学との包括連携協定を機に、公民連携による取組みを進めることができることを非常に心強く感じています。歴史観光の推進や町の魅力発信、新たな特産品の企画開発をはじめ、多様な分野での連携・協力を進め、共に地方創生に取り組んでまいりたいと思います。



【阪南大学長 田上 博司コメント】

このたび、太子町と包括連携協定を締結したことを大変喜ばしく思います。2019年に聖徳太子にゆかりのある聖燈会のイベントにおいて、西方院でプロジェクションマッピングを担当教員として実施したこともあり、感慨深いものがあります。太子町は文化遺産の宝庫と言ってもよく、連携事業により、太子町の文化財の活用を通して町の魅力をより社会に発信することに力添えできればと思います。また、協定に基づく産官学の連携により、様々な教育・研究活動が展開されることを期待しています。



【今後の取組み(検討中のものを含む)】

- ・ 国指定史跡「二子塚古墳」及び国登録有形文化財の「大道旧山本家住宅」の活用に対する助言及び提案
- ・ 町広報事業への学生の参加(インターネットテレビ「太子 TV」、広報サポーター)
- ・ 産官学連携による、ふるさと納税型クラウドファンディング事業への学生の参加

【本件に関するお問い合わせ】

■太子町役場 政策総務部秘書政策課(公民連携デスク)

住所:大阪府南河内郡太子町大字山田 88 番地

電話:0721-98-0300(代表)(内線 371)

担当:小泉

■阪南大学 総務企画課

住所:大阪府松原市天美東 5-4-33

電話:072-332-1224(代表)

担当者:浮田